

## 研究・調査報告書

| 分類番号  | 報告書番号  | 担当                  |
|---|--------|---------------------|
| A-135   | 13-120 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 |
| <b>題名 (原題/訳)</b>  |        |                     |
| Prevalence of fetal alcohol spectrum disorders in child care settings: a meta-analysis.<br>児童養護施設における胎児生アルコールスペクトラム障害有病率：メタアナリシス  |        |                     |
| <b>執筆者</b>  |        |                     |
| Lange S, Shield K, Rehm J, Popova S.  |        |                     |
| <b>掲載誌</b>  |        |                     |
| Pediatrics. 2013 Oct;132(4):e980-95. doi: 10.1542/peds.2013-0066.   |        |                     |
| <b>キーワード</b>  |        | <b>PMID</b>         |
| 養子、児童養護施設、胎児生アルコールスペクトラム障害、胎児性アルコールスペクトラム障害、メタ解析  |        | 24019412            |
| <b>要 旨</b>  |        |                     |
| <p><b>目的：</b><br/>子供たちは好ましくない状況(アルコール依存、薬物乱用、児童虐待)によって社会的養護(児童養護施設、里親制度など)される。そのような状況は妊娠期のアルコール障害のオッズ比が増加し、この集団では胎児性アルコール障害(FASD)の高いリスクがある。これまでのACA*(active case ascertainment)法を使ったこれまでの研究結果をプールし様々な異なる社会的養護での胎児性アルコール症候群(FAS)と胎児性アルコールスペクトラム障害(FASD)を集積し、その有病率を評価することを目的とした。</p> <p><b>方法：</b><br/>この研究では複数の異なる電子データベースを用いて、系統的にレビューし、様々なタイプの社会的養護毎の FASD と FAS の有病率についての国際的に出版あるいは未出版の研究を用いたメタアナリシスを行った。プールされたデータを用いて有病率とその 95%信頼区間は変量効果モデルを使用して、Mantel-Haenszel 検定を用いて求めた。感度分析は、受動的サーベイランスあるいは混合研究法が使われた研究に対して実行した。</p> <p><b>結果：</b><br/>ACA 法を使った研究に基づいて、社会的養護における若年者の FASD と FAS の有病率はそれぞれ 6.0%(1000 件中 60 件 95%信頼区間 38~85)、16.9%(1000 件中 169 件 95%信頼区間 109~238)であった。</p> <p><b>結論：</b><br/>児童養護施設あるいは社会的養護による保護下にあるのかにかかわらず、FASD の高リスク群であることが示された。高リスク群に対してはスクリーニングの実行が是非とも必要である。</p> <p>*ACA 法：最も正確と考えられている FASD と FAS の有病率を調べる手法。</p> |        |                     |